

免許状教科	中学校 I 種 (社会)			
科目名	介護等体験事前事後指導	科目分類	教職科目	
			経済学科	■必修 □選択
			学科	□必修 □選択
英文表記	Practice Care Training	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年	
ふりがな	しばた ひろし	開講期間	□前期 □後期 □通年 ■集中	
担当者名	柴田 博	修得単位	2単位	
授業のテーマ	生活上の障害をもっている方々の状況を理解する。			
授業概要	福祉施設や特別支援学校の特性や社会に果たす役割を理解し、介護等体験実習を実践するし、生活上の障害を学ぶことを通して、どのような支援が必要であるかを思考する授業としたい。			
到達目標	教育現場と福祉現場での実習を通して障害をもって生活する方々を理解する。			
授業時間外の学習	新聞・書籍・ビデオ等を視聴し、障害をもって生活している方々の生活を知っておくこと。			
履修条件	特になし。			
授業計画				
第1回	社会福祉施設と特別支援学校について			
第2回	体験実習をする社会福祉施設について			
第3回	障害の理解・・・障害の概念と生活機能分類 (ICF)、障害者福祉の基本理念			
第4回	障害の理解・・・障害の医学的側面・生活障害などの基礎知識			
第5回	老化の理解・・・老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴			
第6回	認知症の理解・・・認知症を取り巻く環境、認知症の基礎と健康管理			
第7回	介護におけるコミュニケーション技術			
第8回	介護における尊厳の保持・自立支援			
第9回	感情①：感情はいつ、どのように生まれるのか			
第10回	介護の基本・・・介護の専門性と多職種との連携			
第11回	介護・福祉サービスの理解と医療・教育・労働等との連携			
第12回	実習報告とスーパービジョン			
第13回	実習報告とスーパービジョン			
第14回	実習報告とスーパービジョン			
第15回	介護等実習体験のまとめ			
第16回	試験・・・レポート作成			
テキスト	授業中にプリントを配布する。			
参考文献・資料	授業中に指示する。			
成績評価の方法	学習態度 (20%)、実習報告の内容 (30%)、試験 (50%) ※出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。			
成績評価の基準	平成 28 年度 (2016) 以降入学した学生 秀(100～90 点)、優 (89～80 点)、良 (79～70 点)、可 (69～60 点)、不可 (59 点以下) 平成 27 年度 (2015) 以前に入学した学生 優 (100～80 点)、良 (79～70 点)、可 (69～60 点)、不可 (59 点以下)			

オフィスアワー	授業終了後。
学生への メッセージ	社会には、様々な障害をもつ方々がいることを学んでほしい。